

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、12月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、議会広報委員会で事項別に整理した内容の一部を掲載しています。
一般質問の全文は、2月中旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

ごみ行政について

ごみ行政について、次の質問が行われました。

質問：新ごみ焼却施設を山崎に建設することは行政計画に位置付けられていると理解しているが、その認識でよいか。

市長：そのとおりである。

質問：建設候補地周辺の住民との合意形成が進んでいない中、市長選前に行われた新ごみ焼却施設建設に反対する住民の会との話し合いの場で、市長は協議の枠を広げたいとして逗子市、葉山町との広域連携や自区外処理に言及されたと聞く。どのような経過で幅を広げて検討することに至ったのか。

市長：新ごみ焼却施設の建設に向け、これまでの話し合いで安全・安心な施設づくりや周辺のまちづくりの提案を行ってきたが、話し合いは平行線となつている。このまま建設を進めることができない状況が続くと安定的なごみ処理の確保が困難となる可能性があることから、あくまで新ごみ焼却施設建設は行政計画として決定している山崎下水道終末処理場未活用地を進めていくが、あわせてごみ処理のさまざまな手法について検討し、より適正なごみ処理の手法を選択することが適切であると判断した。

質問：山崎での建設を見直しするという趣旨で受け止めた市民もいると思うが、そういった趣旨ではないのか。

市長：見直しをしているものではなく、あくまで検討の幅を広げるという説明をした。

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

福祉政策マニフェスト2017について

福祉政策マニフェスト2017(以下「マニフェスト」)について、次の質問が行われました。

質問：なぜ福祉政策に特化したマニフェストを作ったのか、市長の思い、考えを伺いたい。

市長：平成28年7月に津久井やまゆり園で起こった事件を二度と起こさないためにも、また全ての人たちが多様性をもって生き生きと楽しく暮らすことができる共生社会の実現のためにも、福祉政策の展開に、より力を入れて取り組んでいきたいと考えている。

質問：マニフェストは誰が作成したのか。職員は関与しているのか。

市長：医師やソーシャルワーカー、理学療法士や作業療法士など、福祉、医療等の分野の現場に関わる専門職の方々と議論を重ねて策定したものである。特に職員は関与していない。

質問：今後、マニフェストを実現していくためにどのような手続きを踏んでいくのか。

経営企画部長：マニフェスト

いくが、あわせてごみ処理のさまざまな手法について検討し、より適正なごみ処理の手法を選択することが適切であると判断した。

質問：山崎での建設を見直しするという趣旨で受け止めた市民もいると思うが、そういった趣旨ではないのか。

市長：見直しをしているものではなく、あくまで検討の幅を広げるという説明をした。

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：市長の発言は大変重く、行政計画に位置付けられていないことを公の場で不用意に発言するべきではないと考える。建設予定地を選定したのは松尾市長自身であるが、決定事項から逃げているのではないか。

市長：あくまでも山崎での焼却施設建設について引き続き協議させていただき、併せて幅を広げて検討するということを説明させていただいた。鎌倉のごみ処理については最重要課題として取り組んでいくという気持ちに変わりはない。

質問：逗子市と葉山町とで構成するごみ処理広域化検討協議会(以下「協議会」)に

質問：マニフェストの「誰もがチャレンジできる障害者雇用の推進」について、取り組み状況を伺いたい。

同部長：市役所で先導して平成30年度から開設するワークステーションの準備をしており、実際に作業する障害者スタッフや、障害者スタッフを支援する支援員の採用に向けた準備、各課で行っている作業のうちワークステーションに依頼する作業の集計をしている。今後は、先進市である岡山県総社市が取り組んでいる「障がい者千人雇用」事業を参考に実施していきたいと考えており、研究をしていきたい。

質問：マニフェストの「家庭における子育て支援」について、現行のサービスでニーズに応えきれないと思うことはあるか。

市長：子育て支援センター等で子育ての情報発信や育児相談に応じているところではあるが、少子化や核家族化により子育ての孤独感や負担感など、家庭での子育てに悩みや不安を抱えている方々の多様化しているニーズに応えていくことができればと考えている。

質問：マニフェストの「健康福祉部長：障害の有無によつて分け隔てられることなく、全ての市民が地域で安心して暮らせる共生社会を実現させることを目的とし、具体的には、他市の事例を参考に障害者差別の禁止や、共生社会実現のための市民や行政の責務等を明確化するなどを検討している。

質問：条例制定に向けた準備状況はどうか。

同部長：現在、他市の事例などを調査しており、平成30年度以降に具体的な作業を進めていく。マニフェストの基本となる条例と考えるので、早期の実現に向けて取り組んでいきたい。

質問：過去に鎌倉市と逗子市で締結したごみ処理広域化の覚書を一方的にほごにされた経過がある。市長の判断については、信頼性、将来への継続性に不安を感じるがいかがか。

市長：信頼関係をともに一つ一つ着実に協議を進めていきたい。

一般質問項目一覧

- ① 長嶋 竜弘(無所属)
 - 1 鎌倉市政に異論反論オブジェクションVOL.1
- ② 納所 輝次(公明党)
 - 1 セルフ・ネグレクトの人への支援と地域福祉支援のあり方について
- ③ 千 一(無所属)
 - 1 住んでいる人にとって一度でも迷惑になるゴミ捨てや排泄物について
 - 2 トイレについて
 - 3 今度の東京オリンピック・パラリンピックまでにやらなければならないこと・できること
- ④ 保坂 令子(神奈川ネット鎌倉)
 - 1 地域包括ケアシステムの構築について
 - 2 在宅医療介護連携について
 - 3 安定的なごみ処理と自区外処理発言について
- ⑤ 高野 洋一(日本共産党)
 - 1 公共施設再編計画のあり方について

- 2 文化財行政について
- ⑥ 吉岡 和江(日本共産党)
 - 1 市長の政治姿勢について
 - 2 ごみ問題について
 - 3 深沢まちづくりと村岡新駅について
- ⑦ 安立 奈穂(神奈川ネット鎌倉)
 - 1 小中学校における教材費などの保護者負担について
 - 2 市長の福祉政策について
- ⑧ 飯野 真毅(無所属)
 - 1 公園行政について
 - 2 福祉行政について
 - 3 まちづくり行政について
- ⑨ 志田 一宏(自民党鎌倉市議団)
 - 1 子供を守る環境について
- ⑩ 西岡 幸子(公明党)
 - 1 発達障害の早期発見について
 - 2 超高齢多死社会を迎えるにあたり終末期を考える
 - 3 深沢地域整備事業について
- ⑪ 竹田 ゆかり(無所属)
 - 1 教職員の勤務実態調査について
 - 2 豊かな学習環境について
 - 3 通級指導教室について
 - 4 市民の安全確保について
 - 5 市のコンプライアンスについて

- ⑫ 池田 実(鎌倉みらい)
 - 1 鎌倉市の農業について
 - 2 鎌倉市の交通環境について
 - 3 深沢地域のまちづくりについて
- ⑬ 大石 和久(公明党)
 - 1 市長の政治姿勢について
- ⑭ 河村 琢磨(ヴィジョン)
 - 1 市長が描く未来ビジョンについて
 - 2 情報伝達機能から考える防災安全への取り組みについて
 - 3 障害者2,000人雇用に向けたロードマップについて
 - 4 証拠調査士による庁内不祥事の解決に向けた考え方について
 - 5 ナッジを活用した行財政運営について
- ⑮ 武野 裕子(日本共産党)
 - 1 高齢者が住みなれた地域で暮らし続ける環境の整備について
- ⑯ 伊藤 倫邦(自民党鎌倉市議団)
 - 1 保育園児の緊急事態(体の不調)の対応に付いて
 - 2 緑の保全の手入れに関して
 - 3 公用車すべてにドライブレコーダー及びバックモニターの設置について、及び昼間に走行中ライトの点灯について

- ⑰ 前川 綾子(鎌倉みらい)
 - 1 住みよいまち「鎌倉」の実現について
- ⑱ 永田 磨梨奈(鎌夢会)
 - 1 放課後かまくらっ子について
 - 2 福祉政策マニフェスト2017について
- ⑲ くりはら えりこ(無所属)
 - 1 子育て環境について
 - 2 インクルーシブ社会に向けての地域づくりについて
 - 3 公共施設インフラのあり方について
 - 4 鎌倉らしい市政についての要望と提案
- ⑳ 日向 慎吾(鎌夢会)
 - 1 市民にわかりやすい情報発信や案内について
 - 2 安全安心対策について

